

科目名	観光経営戦略論	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)	
			国際観光学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Tourism Business Strategy	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年	
ふりがな	つかはら ゆうじ	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	塚原 雄二	修得単位	2単位	
授業のテーマ	前期の「観光企業マネジメント論」の応用編として、観光系企業の経営理念、経営戦略について事例を中心に学ぶ			
到達目標	メディアや企業自身が発信する企業業績や経営戦略を批判的に理解できる能力を身に付ける。			
授業概要	観光系企業の経営環境、経営理念、企業統治、人事・財務・ブランド戦略、ホテルとエアラインの経営戦略について事例を中心に学び、更にグループ学習を通じてその理解を深める。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション (シラバスの確認) 第1章 数字で読む観光系企業の経営環境			
第2回	第1章 数字で読む観光系企業の経営環境			
第3回	第2章 経営の理念・ビジョン			
第4回	第3章 法令順守と企業統治とは何か			
第5回	第3章 法令順守と企業統治の事例研究			
第6回	第4章 人事戦略の事例研究			
第7回	第5章 財務戦略の事例研究			
第8回	第6章 ブランド開発の事例研究			
第9回	第7章 ホテル企業の経営戦略			
第10回	第8章 エアラインの経営戦略			
第11回	第9章グループワーク1 (事例研究 テーマ選定・グループ分け)			
第12回	第9章グループワーク2 (グループ研究)			
第13回	第9章グループワーク3 (発表と相互評価)			
第14回	第9章グループワーク4 (発表と相互評価)			
第15回	第9章グループワーク5 (発表と相互評価)			
第16回	定期試験			
授業時間外の学習	(1) 授業前に、授業用配布資料に目を通し。前回までの授業内容を復習しておくこと。その際必要に応じ、企業発信の情報や政府統計などで事実の検証を行う。(1.5時間程度) (2) 観光系にとどまらず個別企業に関するニュース、トピックス、事件等の報道に注目し、疑問点は教員にも意見を求め自らの理解を深める。(0.5時間程度)			
履修条件 受講のルール	ホテル、エアライン、レストラン、旅行会社等観光系企業の経営戦略を実践的に学びたい人 前期の「観光企業マネジメント論」を受講していることが非常に望ましい。			
テキスト	使用しません。スライド、プリント等によって授業を行います。 授業用のプリントはその都度配布しますので欠かさずファイルしておく必要があります。 事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。			
参考文献・資料	「星野リゾートの教科書」、「星野リゾートの事件簿」中沢康彦 日経BP (2010) 「真実の瞬間」ヤン・カールソン ダイヤモンド社 (1990) その他授業の都度適宜紹介します。			
成績評価の方法	・定期試験60%、その他40%(授業参加度、グループワーク等)を基本として総合的に評価します。 ・出席回数が規定に満たない場合および授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。			

	<ul style="list-style-type: none"> ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	金曜日 10:30-15:30、事前にメールで、または授業の前後にリクエストしてください。
成績評価基準	<p>平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p> <p>平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)</p>
学生へのメッセージ	<p>会社の経営は論理的でしかも人間の感情の産物でもあり、非常にエキサイティングなものです。企業の事例を中心に経営のダイナミズムを学び、「自分ならどうするか？」という問題意識を持って考え、授業を楽しんでください。</p>